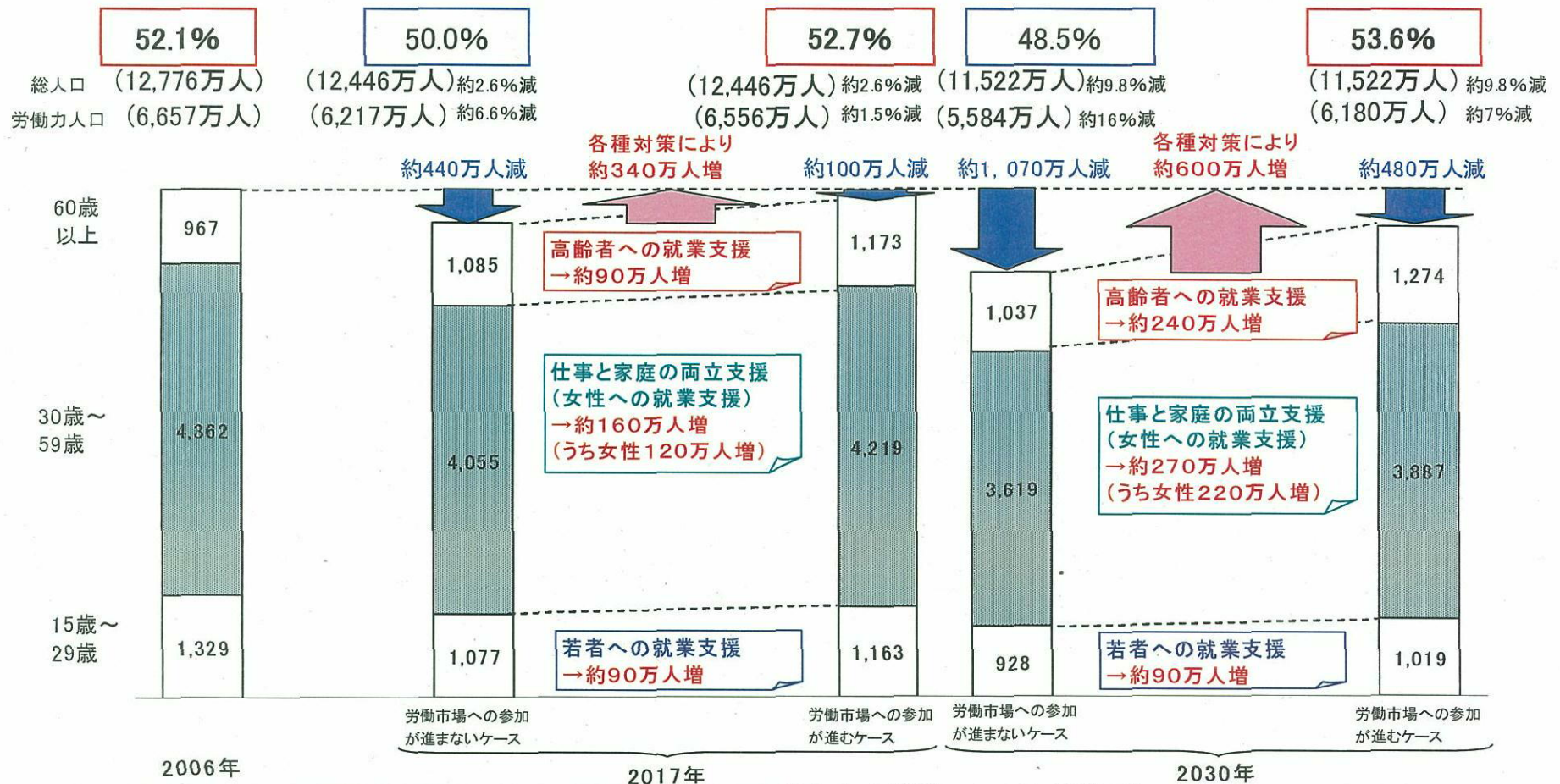


労働力人口の見通し

○ 現状のまま推移した場合、総人口の減少率よりも労働力人口の減少率の方が高くなる。このため、若者、女性、高齢者など全ての人が意欲と能力に応じて働くことのできる環境を整えることが必要。



(資料出所) 総人口については、2006年は総務省統計局「人口推計」、2017年、2030年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006年12月推計)による。

労働力人口については、2006年は総務省統計局「労働力調査」、2017年、2030年はJLPT「2007年度需給推計研究会」における推計結果。

(注)1 「労働市場への参加が進むケース」とは、各種施策を講じることにより、より多くの者が働くことが可能となったと仮定したケース

(注)2 2017年、2030年における総人口及び労働力人口の推計横の割合については、2006年における総人口又は労働力人口と比較したもの。

高齢者の雇用失業情勢

年齢階級別・男女計就業率推移

(%)

		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年	
60歳～64歳 (男女計)		50.6		50.7		51.5		52.0		52.6		55.5	
(男)	(女)	64.0	37.5	64.7	37.5	65.4	38.4	65.9	39.0	67.1	39.0	70.8	41.0
65歳～69歳 (男女計)		34.2		33.5		33.2		33.8		34.6		35.8	
(男)	(女)	46.1	23.7	44.4	23.3	43.8	23.8	45.0	23.7	45.7	24.6	46.9	25.6
70歳～ (男女計)		13.9		13.6		13.5		13.6		13.3		13.3	
(男)	(女)	21.5	8.8	20.9	8.8	20.7	8.7	20.8	8.7	20.3	8.7	20.6	8.4

(資料出所) 総務省統計局「労働力調査」

高齢者の雇用失業情勢

年齢階級別・男女別雇用失業情勢

(%、倍)

	年齢計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
完全失業率 (男女計)	3.8	6.8	4.2	3.0	2.8	2.9	3.8	1.7
完全失業率 (男)	3.9	7.4	4.0	2.9	2.9	3.6	4.7	2.1
完全失業率 (女)	3.7	6.2	4.4	3.4	2.8	1.9	2.1	1.0
就業率 (男女計)	58.2	41.3	78.6	80.2	83.3	75.3	55.9	19.6
就業率 (男)	70.1	41.3	90.9	93.7	93.7	89.6	71.5	28.8
就業率 (女)	47.1	41.2	65.9	66.4	72.9	61.3	41.2	12.8

(資料出所) 総務省統計局「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」

(注) 1. 完全失業率の年齢計は季節調整値。その他は原数値。

2. 完全失業率は、平成19年12月時点。就業率は平成19年11月時点。